

ボーイスカウト東京連盟  
あすなろ地区 広報誌  
第41号  
2022年(令和4年)  
11月27日  
普及委員会

## カブラリー 「海賊たちと伝説の宝」がテーマ

11月20日(日)、蚕糸の森公園であすなろ地区のカブラリーが「海賊たちと伝説の宝」をテーマに開催され、地区内各団のカブスカウトが参加しました。

各団では事前の集会で三ツ又の枝を使ったパチンコと、海賊の衣装のバンダナを手作りし、他団のスカウトとの交流のため、海賊らしい組の名前を入れた名刺も作成しました。

開会式では参加したカブスカウト全員で大きな輪を作ったカブコール、「狩りの歌」、佐藤地区委員長の挨拶のあと、ラリーが開始されました。

公園内には各団が準備し、担当する6つのポイントが設置され、スカウトはバンダナをかぶり、パチンコを手にして、組単位でポイントを回りました。

パチンコの玉は危険のないように、新聞紙を丸めただけのため、目標物に届かなかったり、まっすぐ飛ばないこともありましたが、見事にペットボトルを倒したり、手旗で指示された色の箱に玉を投げ入れると、成績に応じて得点が計算され、優秀組には表彰がありました。

ポイントでの待ち時間の間には、用意した名刺を他団のスカウトと交換しての交流も行われました。



参加章のワッペン



勢揃いした各隊の隊旗



手作りの名刺で他団のスカウトと交流





テント内の海賊に関連した品を1分間暗記して書き出す、キムスゲーム



海賊旗に見立てた参加団のネッカチーフにパチンコ玉を当てるリレー



手旗で送られた文字の色の箱にパチンコで玉を入れるゲーム



封がされ、小さな穴のある紙コップの中の品を匂いで当てる五感ゲーム



自分の歩幅を計測したあと、指定された距離にあるペットボトルを当てるゲーム



小さいほど得点が高いペットボトルをパチンコで倒すゲーム

## あすなろ地区技能章訓練

## 地区副コミッショナー 古川 久生

10月8日(土)～9日(日)、八王子ひよどり山野場で「野営管理章」と「パイオニアリング章」の技能章訓練が行われ、各団のボーイ、ベンチャースカウトが参加しました。

「野営管理章」は8日(土)の午後3時に集合し、一泊の野営を通して、翌朝9時まで講義と実技を行いました。

また、9日(日)の「パイオニアリング章」は、前日の「野営管理章」から参加のスカウトと、当日午前9時から参加のスカウトで実技を行いました。

両プログラムとも実技を効果的に行えるよう、事前の勉強会を行い、「パイオニアリング章」は9月25日(日)にウエルファーム杉並で、製作する三角信号塔と投石機の材料表、組立図、組立手順をレポートにまとめ、模型を作りました。

「野営管理章」は10月2日(日)にオンラインで事前学習会を行い、現地調査と事故への備え、儀式と営火、野営時の点検項目、朝と夜の点検の各点検項目表の作成など、事前のレポート書きを進めました。

実技訓練の当日は、前日までの厳しい寒さと降雨から一転してキャンプ日和となり、「野営管理章」にはボーイ2名、ベンチャー5名の計7名、「パイオニアリング章」にはボーイ9名、ベンチャー7名の計16名のスカウトが参加しました。

「野営管理章」、「パイオニアリング章」とともに、5名の地区ローバースカウトがリーダー役でプログラムを進めていただき、若手の活躍をととても心強く思いました。

今年初めて挑戦した三角錐を二つ組み合わせた三角信号塔は、バランスをとるのが難しく、完成するまで苦労しましたが、交替でみんなが登ることができました。

投石機は18NSJで作ったものを再現し、ボールを遠くまで飛ばして楽しむことができました。

今年は3連休に実施した関係もあり、例年より参加スカウトが少なくなりましたが、参加したスカウトそれぞれに実り多い訓練だったと思います。

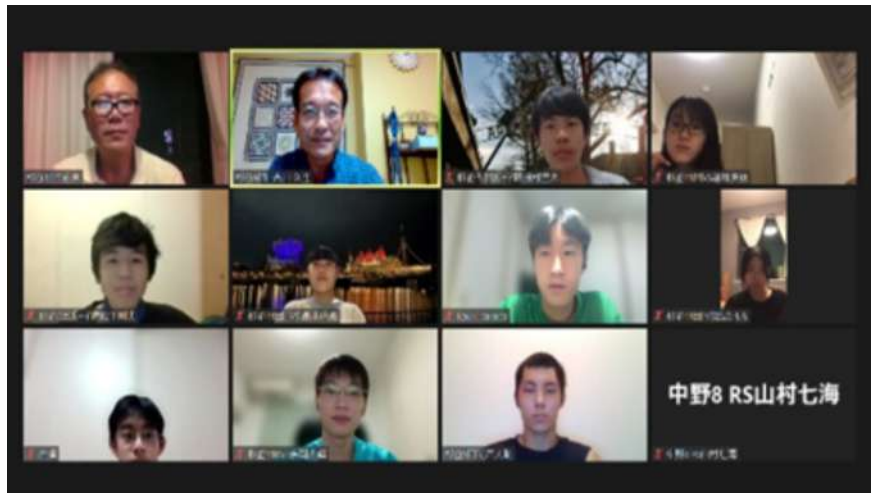
技能章訓練は来年も開催しますので、ぜひご参加してください。



パイオニアリング章の事前学習会



パイオニアリング章の事前学習会



野営管理章の事前学習会



ローバーによる野営管理章の講義



キャンプファイアの計画と実施



朝の点検を体験



朝礼、スカウトOWN・サービスの実施



野営管理章に参加のメンバー



野営管理章に参加のメンバー



パイオニアリング章参加メンバー作成の模型



パイオニアリング章に参加のメンバー



三角信号塔の完成



完成した投石機でボール飛ばし

## 菊スカウト章、富士スカウト章の伝達

10月17日（月）、阿佐谷地域区民センターで開催された地区委員会に先立ち、以下の方々に菊スカウト章の伝達、富士スカウト章記念品が伝達されました。

【菊スカウト章】 杉並11団 荒川 毅、橋場 息吹、升岡 凜

【富士スカウト章】 杉並11団 海上 紗慧、高野 夏帆



菊スカウト進級証の伝達



菊スカウトチーフリング



富士スカウト章記念品の伝達



佐藤地区委員長から激励の言葉



進級を祝して弥栄



受章スカウトと保護者、指導者

## 菊スカウト章の伝達

11月14日（月）、阿佐谷地域区民センターで開催された地区委員会に先立ち、杉並11団の藤原滉矢さんに菊スカウト章が伝達されました。

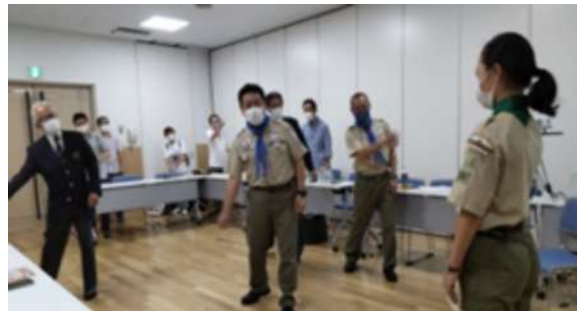


## プラチナアワード ハイク200

9月12日（月）に阿佐谷地域区民センターで開催された地区委員会に先立ち、ハイキングの距離が200kmを超えたスカウトに授与される「プラチナハイカー ハイク200」が杉並11団の柘岡 凜さんに授与されました。



東京連盟から発行されるハイク200の認定証は、2022年度の第1号でした。



## すぎなみ舞祭で奉仕

10月16日(日)、すぎなみ舞祭が下高井戸のおおぞら公園で開催されました。

すぎなみ舞祭はコロナ感染防止のため、2年続けて規模を縮小して開催しており、3年ぶりの通常開催となり、約40チーム、750人の子どもたちが参加しました。

各チームはメインステージとサブステージで、音楽に合わせて、これまで練習を重ねてきた、息の合ったダンスを繰り広げました。

公園内には屋台やキッチンカー、舞祭グッズの店も出店し、秋晴れに恵まれて、参加者の家族や見学の方など、多くの方で賑わいました。

あすなる地区では、会場内の警備や車輛の誘導を担当するチームと、公園内に設けられたキッズエリアの担当チームで奉仕を行いました。

キッズエリアのあすなる地区のコーナーでは、子どもたちが楽しく遊べる「クモの巣脱出ゲーム」、「ハンターゲーム」のほか、木立ちの中に「モンキーブリッジ」を設け、開会式が終わると、早速たくさん子どもたちと保護者の順番待ちの列ができました。

「クモの巣脱出ゲーム」は、張り巡らされた「くもの糸」に触ると、吊るされた鈴が鳴り、“くも”が襲ってくるため、「くもの糸」に触らないように、慎重に場所を選びながら、足を出し入れして渡ってもらいました。

「ハンターゲーム」では輪ゴム鉄砲で恐竜などの的をねらい、立木の上にロープを張って作成した「モンキーブリッジ」には危険のないように、地区の担当者が見守りながら渡ってもらいました。

参加した子どもたちには、普及委員会委員の手作りの組紐人形や、鉛筆型のストラップを参加賞としてプレゼントしました。

ボーイスカウトの活動を紹介するテントでは、保護者の方からは、住まいの近くの団での見学の希望や、「何歳から入隊できますか?」、「女の子も入隊できますか?」などの質問があり、日本連盟や地区のパフレットなどを活用して説明しました。



岸本杉並区長の開会式の挨拶



各チームのダンスの発表



モンキーブリッジの順番待ちの列



慎重にモンキーブリッジ渡り



輪ゴム鉄砲でねらい打ち



くもの糸に下げられた鈴を鳴らさないように…前進！



特製ストラップの記念品

# ローバースカウト100kmハイク

11月12日(土)～13日(日)、第55回東京連盟ローバースカウト100kmハイクが開催されました。

港区の増上寺で開会式のあと、午後2時に出発し、池上本門寺(大田区)→築地本願寺和田堀廟所→浅草寺(台東区)→祐天寺(目黒区)→飛鳥山公園(北区)→船越日枝神社(江戸川区)の各チェックポイントを通して、24時間以内に増上寺に戻るコースです。

あすなる地区では、25km地点にあたる、築地本願寺和田堀廟所に第2チェックポイントを設け、到着する選手の誘導、通過記録などを行いました。

ネームホルダーを下げ、前後にゼッケンを付けたローバーが到着すると、テーブルに設置されたQRコードを読み込み、システム上の通過操作を済ませて、そのまま元気よく次の浅草寺のチェックポイントへ向けて飛び出して行く人や、10分以内に制限されている休憩の間に、床に座り込んで水分や栄養補給をして体調を整える人などでにぎわいました。

ローバースカウト100kmハイクの男女別の参加者、完歩者、完歩率は下表の通りでした。

あすなる地区からは7名のローバーが参加し、完歩者は5名で、以下のゴールタイムでした。

- 23時間20分：関戸 大輔(杉並5団)、室賀 来知(杉並13団)、山村 七海(中野8団)
- 23時間29分：吉岡 優奈(杉並11団)、西村 福太(杉並11団)

	全体	男性	女性
参加者 a	208	140	68
完歩者 b	162	111	51
完歩率 b/a	77.9%	79.3%	75.0%



スタート前の地区参加ローバー



築地本願寺和田堀廟所に到着した参加ローバー



QRコードと支援の飴、クラッカー



築地本願寺和田堀廟所に到着したあすなる地区の参加ローバー



グループで仲良く休憩中



ゴールしたあすなる地区の参加ローバー

## BSAキャンプ アメリカのスカウトと交流

中野8団 沼上 志帆

10月28日(金)から30日(日)の2泊3日で、“BSA日米パトロールオーリー”が神奈川県逗子市の池子の森自然公園で行われ、あすなる地区から11名のスカウトと4名の指導者が参加しました。

“BSAキャンプ”はボーイスカウト東京連盟スカウトと、アメリカ極東連盟スカウトとの交流を目的として開催されるものです。

池子の森自然公園の会場は初めてで、指導者も全然情報がない中のキャンプでしたが、3日間とも素晴らしい快晴で、日中は半袖で過ごせるような気候の中でキャンプをすることができました。

スカウト達は15個のゲームやキャンプファイア、国内外のスカウトと交流などをして楽しみました。日中のプログラムでは、1班は人数の少ない綾瀬の団のスカウトと共にプログラムを回りました。

最初はあすなる地区のスカウト同士もぎこちない雰囲気でしたが、時間がたつにつれてチームワークが深まっていきました。

BSA配給の食事では、味の違いなどに戸惑いながらもおかわりをしたり、美味しく頂きました。

キャンプファイアのスタントには立候補しなかったものの、ソングやダンスなど、言葉がわからないながらも大いに盛り上がりました。

キャンプファイア後の交流会では、高3のスカウトが自ら横須賀のBSAの団に声をかけ、交流会相手を見つけました。最初はなかなか話せず、盛り上がりにかける交流会でしたが、ワッペンの交換やマシュマロ焼きをするなかで徐々に楽しそうに話すスカウトが増えていきました。

今回の経験を糧に、他の海外派遣に参加したり、団での活動に活かしてほしいと思います。



BSA支給の夕食



BSA横須賀団との交流会



盛り上がったキャンプファイア



混みあったテントサイト内での朝食



班旗作り



あすなる地区の参加者



パイプ玉転がしゲーム



サッカーゲーム



ゴルフボール置きゲーム



# ボーイスカウト講習会

# A I S 委員長 嶋崎正男

10月30日(日)、秋晴れのもと第61回ボーイスカウト講習会が中野南部すこやか福祉センターで開催されました。主任講師は日本連盟副リーダートレーナーの成瀬晃司さん(新多摩地区)で、参加者は女性9名、男性8名の計17名(保護者11名、ローバー年代6名)が無事に修了出来ました。

ボーイスカウト講習会は、広く一般の方にも受講して頂けるように、ボーイスカウトのことを分かり易く学べるカリキュラムになっています。5つのセッションの「ボーイスカウトの成り立ち、ハイキングの体験、教育の理念や方法、ボーイスカウトの組織、成人の関わり方」では、動画も見ながら実際の体験を含め、楽しく学んで頂けます。

あすなろ地区では講習会などの指導者訓練に、ローバー年代の若い方を積極的に登用しており、今回もスタッフ17名のうち、ローバー年代の4名が副長や班長役で活躍頂いており、このよい流れを継続していきたいと思っています。参加者によるアンケート結果からは、皆さんが楽しく、有意義に学んで頂いたようです。

- ・ビルゲイツ、麻生太郎元首相、宇宙飛行士野口聡一さんなど、著名人がボーイスカウト出身者に驚き。
- ・初めて会った人と協力してハイキングをしたことで、親しくなれた。
- ・アンノウンソルジャーの話が良かった。
- ・セッション前に各講師の自己紹介のつかみが最高。
- ・グループワークで他の人の考えを聞いたのがとても良かった。
- ・今後自分の出来る範囲で協力していきたい。
- ・今まで「ボーイスカウトって何？」と質問されて困っていたが、受講して自分なりに答えられるようになった。

あすなろ地区ではボーイスカウト講習会を毎年2回(4月、10月)に開催しています。ぜひ団内で幅広くご周知頂き、たくさんの方のご参加をお待ちしています。



班長から注意事項の伝達



歩幅を確認して歩測の練習



U字形に集合



ハイキングに出発



スカウト技能で課題に挑戦



チェックポイントに到着



歩測で距離を計測



隊長に帰着の報告



パトローリングで次のCPに移動



芝生の上でランチタイム



優秀班の表彰



グループに分かれて受講

## 地蔵山サイクリングキャンプ

杉並11団BS隊長 米田 元

杉並11団ボーイ隊は、9月10日(土)～11日(日)に地蔵山野営場に宿泊するサイクリングキャンプを行い、スカウト17名、リーダー4名が参加して、ベンチャー2名(うち1名は地蔵山のみ)も手伝ってくれました。

9月4日の班集会で自転車整備とルート確認を行い、本番では班ごとに地蔵山に向かいました。現在のスカウトたちにとっては初めてのサイクリングキャンプであり、スポーツ車でないスカウトも多いため、班備品、ソロテント、寝袋、マット、折りたたみイスはリーダーが車で輸送しました。

普段、電車と徒歩で通いなれた地蔵山に自転車で行くという経験を通じて、新たなキャンプの楽しさを知ることができたと思います。

行きは道を間違える班もあり、4～5時間かかりましたが、帰りは3～4時間で当団活動拠点の下井草教会まで帰ってこられました。

スカウトたちにとっては初めての長距離サイクリングでとても疲れたと思いますし、皆お尻が痛くなったようですが、達成感であふれていました。特に、多摩川沿いのサイクリングロードが印象的だったようです。



## コミッショナー任務別研修を修了 あすなろ地区 副コミッショナー（ローバー部門担当） 永倉 実

11月5日（土）と6日（日）の2日間、八王子のひよどり山キャンプ場で開催された「コミッショナー任務別研修（地区コミッショナー課程）東京第1期」に、あすなろ地区から飯沼利雄地区コミ、小倉栄一副コミ（カブ部門担当）、内田朋子副コミ（ボーイ部門担当）、古川久生副コミ（ベンチャー部門担当）および私、永倉 実副コミ（ローバー部門担当）の5名が参加し、無事にコミッショナー専門訓練課程を修了いたしました。



本研修は改定された指導者訓練体系の旧コミッショナー上級訓練に相当するもので、東京連盟で初めての開催となりました。

地区コミッショナーの主な業務は、各団各隊の皆さんをサポートすることです。具体的にはラウンドテーブルを開いたり、隊指導者や保護者を対象とした講習会や研修の場を提供したり、各種訓練 コミ専門課程修了章参加のお手伝いをしたり、スカウト対象のラリー、フォーラム、技能訓練などの企画や開催、進級面接や表彰、時には団や隊の状況をお聞きしてお悩み事相談などもやっています。

そのような多岐に渡る業務を、自団や自隊を抱えながら地区コミッショナーがひとりで対応するのはとても困難なため、副コミッショナーが各部門を受け持ち、団コミッショナーが担当団をサポートするなど、7名体制のチームワークで実務にあたっています。

今回のコミッショナー任務別研修には、東京各地区から受講者22名と講師4名が参加しました。初日は早朝に集合し、全員で協力してマーキーを立てて野外に講習会場を設置しました。参加者は“超”が付くほどのベテラン揃いなので、あっという間に設営が終了し、予定を早めて研修が開始されました。

研修内容は盛沢山な地区コミッショナー業務のおさらいと深耕です。4つのグループに分かれた受講者は、示された様々なテーマに対しての討議と発表を通じて、業務や任務に対する理解を深めました。

意見交換を通じて各地区の現状や課題、受講者のバックグラウンドや考えなどを聞くことができ、非常に有意義で得るものが多い研修でした。

本研修で学んだことを活かし、地区の皆さんへのサポートを更に充実させていく所存ですので、今後とも、あすなろ地区コミッショナーグループをよろしくお願い致します。



コミッショナー任務別研修の風景



あすなろ地区の受講コミ



コミッショナー任務別研修 参加者